

5/22 5/23

「川内いますぐ止めよ」

反原連 官邸前抗議行動

首都圏反原発連合（反原連）は21日、原発に反対する首相官邸前抗議行動を行いました。

東京都西東京市の小駒のぶ子さん（67）は「福島で放射能のおそろしさが身にしみました。福島がいつ噴火するかも分からないのに、川内原発が安全だと誰がいえるのか。絶対に止めなければいけない」。



「川内原発をいまずぐ止めよ」「原発なくせ」と訴える人たち＝21日、首相官邸前

佐賀県江北町から夜行バスで来たという山中三義さん（78）は「玄海原発から40キロ圏内に自宅があるので、何かあれば今の生活を奪われてしまう。こんな恐ろしいものに頼る道を止めたい」と話しました。

千葉市の小泉正雄さん（61）は「原発という古い技術にしがみついているだけで、環境にやさしい新エネルギーにかじを切ってもらいたい。どうして安倍首相はエネルギー先進国への道を切り捨てるのかわからない」と憤ります。



スピーチする倉林明子参院議員＝21日、国会正門前

東京都武蔵野市の黒澤昭さん（66）は「福島原発事故で賠償や放射性廃棄物の処理などのコストがかかり、割に合わないことがはっきりしました。もう原発をやめるしかない」と語りました。

倉林参院議員が参加しスピーチ

日本共産党の倉林明子参院議員は21日、首相官邸前抗議行動に参加して、国会正門前でスピーチしました。

川内原発で起こった配管トラブルにふれ、「原発は危ないんです。原発の再稼働は絶対に許さないの声、ただちに止めよの声をみなさんと一緒にあげていきたい。これからのエネルギーをどうするのかを決めるのは国民だということを示すときではないでしょうか」と訴えました。